

Broaden your horizons ～さあ、視野を広げて!～

薬剤師の就職前線の潮目が一気に変わりました。厚生労働省が4月末に公表した薬剤師の需給推計によると、2045年には最大で12万6,000人が過剰になるといいます。少子化にもかかわらず、薬剤師の供給量が10万人程度増加する予測も示しています。確かに今年の春にも和歌山県立医大と湘南医療大学に薬学部が増設されました。

世界の人口10万人当たり薬剤師数は平均83人。国別ではカナダで102人ですが、日本はなんと181人。カナダの薬剤師はワクチン接種をするなど、日本の薬剤師より職域が広いにもかかわらずです。では、供給過多になると何が起こるのか——それは給与の低下です。あるシミュレーションによると、現在の給与の8割程度に下がるとしています。

私自身も元スクール生の転職相談に乗ることがありますので、肌で変化を感じています。以前ならすぐに決まっていた転職が、なかなか決まらなくなってきました。新卒採用はどこの企業もまだ積極的ですが、出身大学をセレクトして採用する風潮がより強まった印象です。

この潮目の変化を感じている人と、感じていない人がいます。それが生き残れるかどうかの指標であると思います。「薬剤師免許さえあれば一生安泰」という時代は終わります。責任感や積極性などが高く、時流を読む人であれ!

メディセレスクール ファウンダー 児島 恵美子